

# 高松支部メディア教育研究部会活動報告

## 1 研究主題

「自ら学び、自ら考え行動する生徒の育成」  
～メディア教材の積極的な活用を通して～

## 2 はじめに

高松市内では、各学校、各授業等で、コンピュータ等のメディア機器を活用して研究主題に迫ろうとするさまざまな取り組みがなされている。また、インターネットに代表される情報の通信は、生活の中で普通に使われ、便利さを享受できる反面、負の部分が生徒に影響を与える場面も増えている。特に携帯電話の普及は生徒間のトラブルにつながることも多く、各校とも保護者と連携して対応していく方法を模索したり、実施したりしている。

また、我々は様々な情報をコンピュータを用いて処理している。昨年度も個人情報や公務情報の取り扱いと管理について研修を進めたが、今年度も引き続き研修した。サーバでの情報管理の方法や問題点についても併せて情報交換をした。

以上のように、我々が研修や実践に取り組むべき事柄は多い。そのため、今年度は、情報管理グループ、情報モラルグループ、メディア教育グループの3グループに分かれて、グループ単位で研修や実践を進め、研究主題に迫れるよう工夫した。

## 3 研究の概要

### (1) 第1回主任研修会

(4月27日 旧新塩屋町小学校)

- ①研究主題の決定
- ②研究組織の決定(グループ分け含)
- ③研究計画の決定

### (2) 第2回主任研修会(6月15日 一宮中学校)

- ①研究主題と研究内容について
- ②放送教育四国大会の協力等について
- ③情報管理とサーバ等の設定に関する情報交換
- ④情報モラル指導に関する討議と情報交換  
(主に携帯電話の使用に関する事柄について)

### (3) 夏季研修会(7月28日 一宮中学校)

- ①情報モラル指導研修  
講師 ソフトバンクモバイル株式会社  
人事総務統括総務本部課長 真島 光様  
人事総務統括総務本部主任 中山昭司様  
営業第三本部エリア営業統括部 松尾幸太郎様
- ②情報管理についての情報交換  
(夏期休業中に取り組んでおくこと)
- ③各グループの研究や研修の内容の見直し

<夏期研修会の様子>



<企業の製品紹介の様子>



(4) 第3回主任研修会(9月15日 一宮中学校)

- ①グループごとの発表(研究の中間発表)
- ②NHK放送コンテストについて
  - ・審査の様子と優秀作品の紹介
- ③県夏季研修会の反省

(5) 第4回主任研修会(11月25日 一宮中学校)

- ①グループごとの発表(研究の中間発表)
- ②放送教育四国大会の反省
- ③企業1社(CASIO)による製品紹介
  - ・教材提示装置

(6) 第5回主任研修会(2月23日 一宮中学校)

- ①22年度のまとめと反省
- ②23年度の研究、研修についての情報交換と計画案

#### 4 研究の内容

##### (1) 情報管理グループ

サーバでのデータ管理や運用の実際について情報交換し、問題点や運用上の要望が出た場合は協議して、教育委員会や教育研究所等に質問や要望を出す。また、ハードウェア的なしくみを知ったりトラブルへの対応や安全性について事例を出しあい、各学校でスムーズに運用できるようにする。

個人情報の管理が厳格になり、生徒が特定できる写真やそれを含む動画などがサーバに保存された場合のデータ領域の容量の問題なども話し合われた。また、管理の実際としてテストあけの成績処理や通知表時期のデータの取り扱いについて、規則遵守の周知とともに残業時間を減らす工夫についても話し合われた。

##### (2) 情報モラルグループ

携帯電話使用に関するモラルや安全な活用法、生徒のメディア機器利用の実態について研修及び調査を行った。特に携帯電話に関しては、現在主流になってきつつあるスマートフォンについての研修を行った。ソフトバンク社に協力を得て実機を操作しながらの研修

会で最新機種 of 便利な機能等について知ることができた。特に携帯電話との違いを感じた点としては、パソコンと同期し、スケジュール管理、文書処理ソフトや表計算ソフトのファイルの閲覧、編集などが簡単にできる点、直接プロジェクタをつなぎ、プレゼンテーションしたりできる点、その他にも豊富な機能がプラスされながら、従来の携帯電話のできる機能もほぼすべてが備わっているところなど、まさしく携帯電話と手のひらサイズのパソコンの融合機という印象を受けた。携帯情報端末と呼ばれる所以である。これらの特徴が消費者の興味を引き、スマートフォンの所持率は飛躍的に増加しており、料金体系が携帯電話と同じか、逆に安くなれば、今すぐにも主流になる勢いである。それに伴い、今まで以上に携帯電話でのトラブルが増えることも予想される。われわれ教員もスマートフォンのメリットやデメリットを把握し、正しく携帯情報端末機器を活用する方法を生徒に指導する必要性を感じた。

##### ・携帯電話会社の安全対策

携帯電話の普及により悪質な被害に遭う中高生が後を絶たない。生徒たちは悪質な情報の氾濫、インターネットによる性犯罪、フィッシング詐欺などに巻き込まれる可能性がある中で携帯電話を使用している。そこで、研修会では携帯電話の使用者が危険を回避するために携帯電話会社がどんな対策を行なっているのかについてもソフトバンク社からお話をいただいた。

未成年者の契約時に会社の取り組みとして以下が挙げられた。

- 未成年者は保護者同伴でなければ契約ができない。
- 未成年者の契約時にフィルタリングサービスを基本とする。
- 保護者の同意なしではフィルタリングサービスを解除することができない。

その他の取り組みとしては、学校教育現場などを対象に、「考えよう、ケータイ～情報

モラル学習プログラム～」というDVD付き指導案冊子の無償配布や研修会の開催が挙げられた。

・生徒のメディア機器利用の実態

常に携帯電話を手を持ち、何らかの機能を操作していないと落ち着かず、過度の場合は健康を害するという携帯電話依存症が社会問題となっている。携帯電話に限らず、ゲームから離れられないゲーム依存症やインターネット依存症などで様々な事例が報告されている。

そこで、本研究会では、中学2年生を対象に、生徒たちが平日どのくらいの時間、携帯電話やゲーム、インターネットを使用しているのかなどをアンケート形式で調査した。また、それらと学習成績とを比較し、学力への影響を調べることにした。

アンケート項目と結果を下に示す。

質問内容と結果	
質問1	普段の勉強時間は1日何時間くらいか。
結果	上位群 1～2時間   下位群 1時間以下
質問2	ケータイでメールやゲームをするか。
結果	上位群 1時間以内   下位群 1時間以内
質問3	パソコンでメールやゲームをするか。
結果	上位群 1時間以内   下位群 1時間以内
質問4	ゲーム機器を使ってゲームをするか。
結果	上位群 1時間以内   下位群 1～3時間
質問5	ブログを見たり、掲示板へ書き込むか。
結果	上位群 1時間以内   下位群 1時間以内
質問6	テレビ何時間をみるか。
結果	上位群 1～2時間   下位群 2～3時間
質問7	就寝時間は平均何時間か。
結果	上位群 22～23時   下位群 23～24時

・アンケート結果より

学習成績上位群と下位群を比較すると携帯電話やパソコンを用いてゲームやメールをしている時間は変わらなかった。ところが、ゲ

ーム機器を使いゲームをする時間とテレビを視聴する時間に差がみられた。また、就寝時間にも違いがみられる。以上のことから、下位群は夜遅くまでテレビを見たり、ゲーム機器でゲームをしたりして学習時間を十分に取るができていないことが分かる。中には、ゲームを3時間以上する生徒もおり、ゲーム依存症の危険性が疑われる。

今後、多種多様なアプリケーション(ゲームを含む)を持つスマートフォンが普及することで、さらにゲーム依存や携帯電話依存の生徒が増えることが予想される。引き続き、生徒の学習成績とメディア機器使用との相関を明らかにし、その結果を保護者や生徒たちにフィードバックすることで、自分の判断でメディア機器を適切に使用しようとする態度を育てていく必要がある。

(3)メディア教育グループ

①研究内容と計画

- ・平成24年度放送教育四国大会(高知)の発表準備として放送教育実践資料の収集、実態調査
- ・上記の発表の骨格づくり
- ・実践事例はメディア教育部会内の全学校校から募集する

②研究実践の内容

- ・放送教育四国大会への参加と自校の実践事例報告

<三木町立三木中学校3年生の実践事例>

1 題材

- ・ブログ社会の落とし穴  
(DVD: NHKエンタープライズ)

2 目標

- ・ネットワークに参加しながら個人情報を守るための注意点を知る。
- ・ブログについての知識を深め、トラブルを未然に防ぐための方法を学ぶ。

### ③学習指導過程

学習活動及び学習内容	○指導上の留意点
<p>1 DVDを見て、ブログと個人情報の扱い方を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●テーマ掲示・ワークシート配布。メモをしながら視聴する。</li> <li>◆5分後DVDスタート。</li> </ul> <p><b>DVD：オープニング（3分）</b></p> <p><b>DVD：ブログと個人情報（8分）</b></p> <p>（質問：約10分）</p> <p>○ユリコがアリサに自分たちの写真を載せないように言ったのはなぜか？</p> <p>○シズオや待ち伏せの男は、どうやってアリサを特定できたのだろうか？</p> <p>○ウェブログ（日記サイト）が、普通の日記と大きく異なる点は何か？</p> <p>2 DVDを見て、情報の発信は慎重に行うべきであることを学ぶ</p> <p><b>DVD：ブログと権利侵害（10分）</b></p> <p>○問題のある行為を行ったのは誰？また問題とは具体的にどんなことか？</p> <p>3 情報を発信する際の注意点を学ぶ</p> <p>○情報を発信する場合の注意点は何か？3つ考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●3項目の注意点を掲示</li> </ul> <p>4 このようなケースが実際にはどんな事件になったのかを知る（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●事件の資料を配布</li> </ul> <p>5 今日の授業を受けた感想を書く</p>	<p>○本校では、ブログ開設やSNSの利用は全体の10%に満たない。しかし、携帯電話所有率が現状の20%から、中学卒業を機に90%を越えるだろうことを鑑みた場合、端末から気軽にアクセスできるブログの気軽さと、それを巡って様々なトラブルが起きている事実を知ることは必要である。</p> <p>○近い将来の自分の話として学ばせる。</p> <p>○ユリコの台詞から想像させる。</p> <p>（生徒回答・要点）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人を特定されて、ストーカーなどの嫌がらせを受けるのが心配だから。</li> <li>・ブログの日記内容から予測して特定した。「個人の特定につながる情報を、むやみにネットで公開してはならない」</li> <li>・大勢の人間から見られている。</li> <li>・知らない人から自分に返事がもらえる。「不特定多数の人間から閲覧されていると考える」</li> </ul> <p>○ユウタ：事実確認をしないまま発信した。</p> <p>ルイ：権利者の許可なく、画像・音楽を複製して二次公開した。（著作権の侵害）</p> <p>○以下の3点に注意しながら、情報を扱う必要があることを学ばせる。</p> <p>「個人が特定される可能性はないか？」</p> <p>「多数の人間に見られても問題ないか？」</p> <p>「他者が権利を持つ情報を勝手に使っていないか？」</p> <p>○実際に中高生が起こした事件や、著作権侵害に対する刑罰の重さなどを紹介する。</p>

### 5 今後の課題

本年度は3グループに分けた部会の運営に取り組んだが、予定の成果を上げたと思っている。来年度も教員のスキルの向上、生徒への実践、情報モラルを中心に保護者との連携

を図れるような取り組みを行いたいと考えている。また、平成24年度の放送教育高知大会の発表に向けて実践、研究を重ねていきたい。

